

見積書の読み方・・・3つの塊に分けて見る

左が見積書の見本、右がその読み方です。番号が対応しています。合計金額を見る前に、まず3色に分けてください。

■ A 車両本体・オプション■ B 法定費用（同じ）■ C 販売店の手数料

見積書の見本（架空）	
A 車両本体・オプション	値引きの中心
① 車両本体価格	〇,〇〇〇,〇〇〇
② メーカーオプション	〇〇〇,〇〇〇
③ ディーラーオプション	〇〇〇,〇〇〇
④ 値引き	- 〇〇〇,〇〇〇
B 法定費用（税金・保険など）	誰が買っても同じ
⑤ 自動車税（月割）	〇〇,〇〇〇
⑥ 自動車重量税	〇〇,〇〇〇
⑦ 自賠責保険料	〇〇,〇〇〇
⑧ 登録などの費用	〇,〇〇〇
⑨ リサイクル料金	〇〇,〇〇〇
C 販売店の手数料	店によって変わる
⑩ 納車費用	〇〇,〇〇〇
⑪ 登録代行費用	〇〇,〇〇〇
⑫ 車庫証明代行費用	〇〇,〇〇〇
⑬ 下取り手続き費用	〇〇,〇〇〇
⑭ 支払総額（乗り出し価格）	〇,〇〇〇,〇〇〇

項目	これは何のお金か 意味	ここを見る 確認と質問	相談 できるか
① 車両本体	車そのものの価格。グレードで変わる	そのグレードで本当に必要か。下位で足りないか（第6講）	できる
② メーカーOP	工場で組み込む装備。あとから付けられない	「これは工場で付けるものですか」と必ず確認	動きにくい
③ ディーラーOP	販売店で取り付ける装備。納車後でも付けられる	急いで決めない。あとから自分で選べば値段も比べられる	できる
④ 値引き	本体・オプションからの割引	本体だけでなく、下取り価格と合わせて総額で見る	できる
⑤-⑨ 法定費用	税金、加入が義務の保険、登録の実費、将来の処分費の預かり	同じ条件なら、どの店でも同じ金額。2店で大きく違うなら理由を聞く	対象外
⑩ 納車費用	車を届けてくれる費用	「自分で取りに行った場合はどうなりますか」と聞いてよい	聞ける
⑪ 登録代行	ナンバー取得などの手続きの手間賃	実費と手間賃の内訳を聞いてかまわない	聞ける
⑫ 車庫証明代行	車庫証明を取る手続きの代行	自分で警察署に行けば実費だけで済むことがある	できる
⑬ 下取り手続き	いま乗っている車を引き取る手続き	下取り価格とセットで確認する（第22講）	聞ける
⑭ 支払総額	A+B+C。実際に払う金額	比べるのはここだけ。本体価格で比べても意味がない	ここで比較

効く聞き方は3つ

「総額でいくらになりますか」「この項目は何の費用ですか」「持ち帰って検討します」。根拠なく値引きを迫るより、この3つのほうがずっと効きます。

値引きは3か所ある

車両本体、販売店オプション、そして下取り価格。3つ目がいちばん見落とされます。本体を引いてもらっても下取りが低ければ総額は同じ。分けて確認し、最後に総額で比べてください。

あとから取り消せない

自動車の購入は、原則としてクーリング・オフの対象ではありません。「あとで取り消せばいい」は通用しないと思ってください。だから契約前に確認するのです。